

129 人工造林による単層林への侵入広葉樹を 活用した針広混交林造成試験（本洞1049ほ）

試験期間 H19～

最終調査年度 令和3年

2021年

1 設定の目的

これまでの単層林施業では、植栽木の育成を優先しているため、植栽木以外の植生を 下刈・除伐等の保育作業段階で除去していることから、新たに侵入した有用広葉樹を保 残されず、一斉針葉樹となっていた。

この試験では森林のもつ公益的機能をより高度に発揮できる森林造成を目的に、単層 林から針広混交林への誘導を行うため、侵入広葉樹の保残を前提とした施業方法について試験調査を実施している。

2 場所等

下呂市馬瀬黒石本洞国有林1049ほ林小班

機能類型等：水源かん養タイプ

3 面積

試験地面積 2.22ha（うち試験地：0.11ha）

4 施業等の概要

時 期	林 齢	作 業 種	内 容
平成9年	1	植栽	3,000本/ha
平成9～12年	1～4	下刈	H9・H10機械刈 H11・H12人力刈
平成19年	11	除伐	除伐
平成30年	22	除伐2類	除伐2類

5 調査計画等

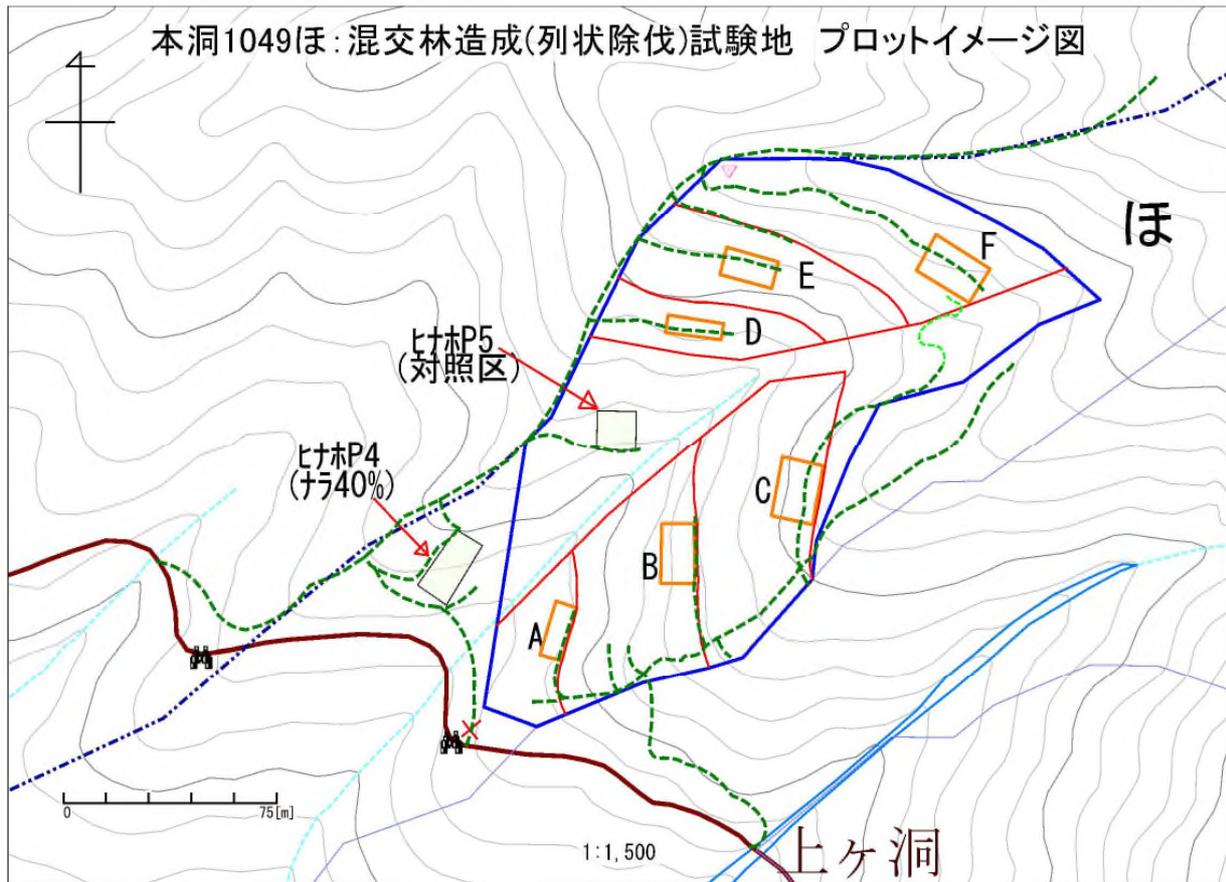
試験地設定	平成19年度 ①設定パターン A：2伐2残 B：4伐2残 C：6伐2残 D：2伐1残 E：4伐1残 F：6伐1残 ②有用広葉樹の樹種、本数、直径、樹高調査等 植栽木の本数、直径、樹高調査等
試験期間	平成19年度～平成33年度

6 地況

標 高	930m～1,050m
平均林地傾斜	38度
方 位	南西
土 壌 型	BD（適潤性褐色森林土）

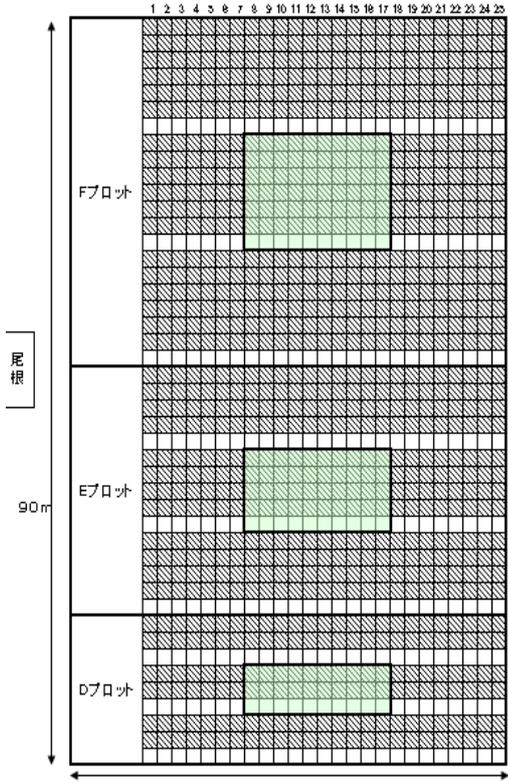
7 プロット現況

年度	林齢 (年)	本数/ha	平均胸高直径 (cm)	平均樹高(m)	侵入広葉樹の種類
平成21年	13	3,055	6.3	4.87	ウリハダカエデ、コナラ、ホオノキ、シロモジ、マルバノキ、コシアブラ、クロモジ、クリ、リョウブ、ヤナギ、ミズナラ、ヌルデ、オオヤマザクラ等
平成23年	15	3,063	7.8	5.76	
平成25年	17	3,063	9.1	6.78	
平成28年	20	3,045	10.9	7.72	



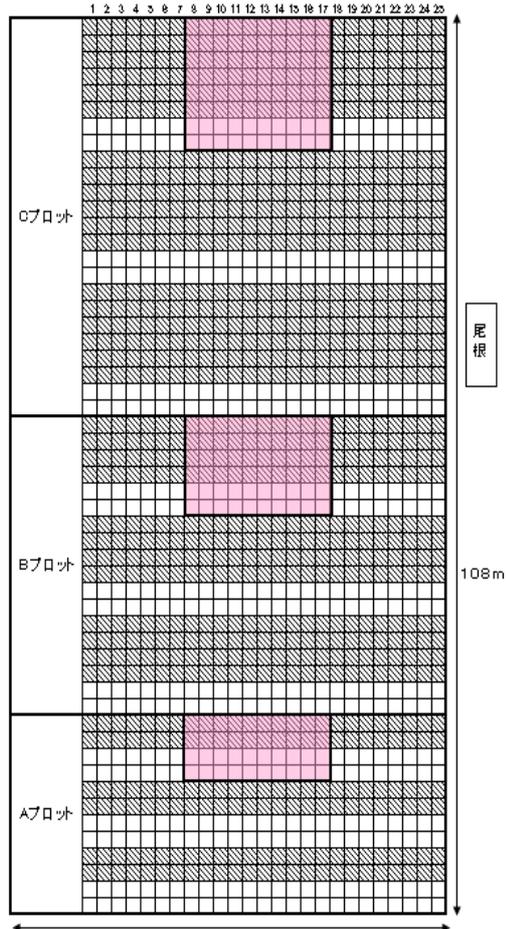
単層林への進入広葉樹を活用した針広混交林造成試験
(パターン模式図)

1残2伐、4伐、6伐



一辺2m
 = 除伐実施箇所 ※交点は植栽木
 = 除伐未実施箇所

2残2伐、4伐、6伐



調査70分面積(m ²)	
A	144.19
B	183.53
C	234.29
D	110.66
E	175.91
F	247.68
合計	1096.26

